

環境経営報告書2007の編集方針

リコーグループは、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を目指しています。当報告書は、環境経営の考え方や推進方法、活動事例、環境会計などをわかりやすく情報開示し、社会とのコミュニケーションを図るとともに、社会からの信頼を得るために発行しています。

●対象読者

リコーグループの環境経営に関する、現在および将来的なステークホルダーの方々を対象読者としました。単なる活動結果の報告に終わるのではなく、ポリシーや活動の進め方も合わせて紹介することで、環境保全活動の環が社会に拡がることを目指したコミュニケーションを心がけています。

●情報開示方針

グローバルな情報開示

環境問題は国境を超えた問題であり、事業や環境社会貢献活動を行う各国や地域での、地元に着目した活動が重要です。そのため当報告書では、グローバルなパートナーシップに基づく環境経営活動を報告しています。

経済的側面に関する情報開示

リコーグループでは、経営のすべての分野に「環境」の視点を取り入れて、環境経営を実現するための改善を図っています。そのため、各部門やグループ全体の活動による環境保全効果と経済効果を把握し、「環境会計」による情報開示を行っています。

編集方針	2
対象読者/情報開示方針/目次	2
世界一の環境経営を目指して	3
2006年度 環境経営の概況	5
報告書の構成と環境経営の全体像	7

特集/環境経営の環を拡げる

リコーグローバルエコアクション	9
リコーツリーデューションプログラム	11
リコー・環境NPOミーティング	13

環境経営の考え方

私たちの目指す姿(Three Ps Balance)	15
循環型社会実現のためのコンセプト(コミットサークル)	16
超長期環境ビジョンと環境経営の推進	17
2007年度までの環境行動計画と2006年度の成果	21

製品に関する取り組み

製品開発の考え方	23
省エネルギー・温暖化防止	25
省資源・リサイクル	28
汚染予防	31

事業所に関する取り組み

省エネルギー・温暖化防止	35
(物流)	40
省資源・リサイクル	41
汚染予防(化学物質管理)	45
(土壌・地下水調査/浄化)	47

環境経営の基盤

環境マネジメントシステム	49
環境経営情報システム	51
環境経営評価手法	53
エコバランス(環境負荷の把握と目標設定)	55
コーポレート環境会計	57
グリーンパートナーシップ	59
環境教育/環境啓発	60
環境社会貢献	63
環境コミュニケーション	71

資料

報告期間	73
報告範囲・主な事業内容	74
報告組織の概要	75
創業の精神・環境綱領・経営理念・環境報告原則	76
サイト別データ	77
リコーグループの環境保全活動の歩み	79
「リコーグループ環境経営報告書2006」のアンケート結果	81
ワード別INDEX	82
第三者検証	83